

## 進行性および再発性膀胱癌に対する

### 減量化学療法併用ハイパーサーミアの治療経験（第2報）

鶴田病院泌尿器科 川畑幸嗣

#### 【目的】

12年7/23～14年6/30の間にハイパーサーミア（HT）を併用した進行性・再発性膀胱癌12例の治療経験を報告。

#### 【方法】

12例を3群に分類。1群は局所浸潤膀胱癌4例（UC, G3, T2～T3）、2群は膀胱癌全摘術後多発転移3例、3群は再発性表在性膀胱癌5例（UC, G3, Ta）。HTは1～2週毎、骨盤部加温で直腸温計測は数回。併用療法はHT直後か翌日に実施。1群は減量GC療法（GEM600 mg、CDDP60 mg）3例、GEM600 mg単独2週間毎1例。2群はGEM600 mg単独2週間毎2例、減量GC1例。3群はBCG40 mg膀注8週連続3例、膀注不可UFT内服2例。

#### 【結果】

12例は男9女3で55～89歳、平均68.3歳。効果判定では1群CR2, PR1, SD1、2群PD1, NE2、3群NE5。進行性の7例中CR2例28.6%、PR1例14.3%、SD1例14.3%、PD1例14.3%、NE2例28.6%、奏効率は42.9%。全体の無増悪生存期間は22～73週、平均55.7週。有害事象はHTで0件、化学療法で悪心2件、白血球減少5件（Grade1）。BCG膀注で膀胱炎&OAB症状5件（Grade1）。

#### 【考察】

初期治療から減量化学療法HT併用を行うと、患者の負担軽減と良好な治療効果が期待できる事が示唆された。

#### 【結語】

進行性および再発性膀胱癌への減量化学療法併用HTの有用性と安全性が示唆された。